

子どもたちの未来のために！！



四季文化館企画実行委員会
「地球のステージ」みの〜れ実行委員会
うちだ きんさく
内田欣作さん

「もっとたくさんの人に
みの〜れを知って欲しい」
と笑顔で話す内田さん。

みの〜れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ
No.84

梅雨の季節を彩る紫やピンクの紫陽花が見ごろを迎えています。雨上がりにちょっと散歩に出て、美しい紫陽花を眺めてみるのもいいですね。また、青梅が収穫の時期になりました。夏バテ防止に梅シロップを作ってみませんか？今回は、四季文化館企画実行委員に新しく加わった羽鳥地区にお住いの内田欣作さん取材します。

地球のステージから 始まったつながり！！

四季文化館（みの〜れ）には、四季文化館企画実行委員会があります。みの〜れで行われる事業の企画運営や施設運営のルールづくりなどを協議する企画実行委員会に本年度から加わった内田さん。

内田さんは羽鳥小学校PTA役員の時に、つくば市で「地球のステージ」公演、平成8年1月よりはじまった「紛争、災害、貧困の子どもたちに音楽・映像で近づこう」というコンサート形式のステージを観る機会があり、知人に誘われて行ったそうです。

「それが素晴らしい・・・よかったんですよ。その時、一番後ろの席で立って観ていたんです。おもしろくなかったら、すぐ帰ればいいや！と思ったから。ところが観始めたら涙が出て、今まであんなに涙を流したことは無かったな。この感動を中学校の生徒に味わって

もらおうと公演の実施に向けて美野里中学校と話し合いを行ってきましたが、時間の調整やスケジュールが合わなくてなかなか実現出来なかった。それでも諦めきれなくて、みの〜れで自主公演を行ったんです。今までにみの〜れでは6回公演を行いました」と地球のステージとの出会いを話してくれました。

「地球のステージ」は映像と音楽と語りからなる公演で、世界各地で貧困を乗り越えてたくましく生きていく子どもたちの姿を垣間見ることが出来ます。

「無限の可能性がたくさんあって将来に向かって伸びていく中学生に観てもらいたいな。それから・・・大人にも観てもらって、子ども達に見てもらいたいという気持ちを広めてもらいたいですね。中学校での公演も、念願叶って、中学校の立志式で公演を開催することができたんです。『地球のステージを観て、医者になろうかと思いましたが、『公演の影響で夢も進学先も変わりました』など、うれしい声も聞こ

えて来ました」と話してくれました。「今回、企画実行委員を引き受けたのは、館長から声をかけてもらったのがきっかけです。地球のステージの時に、みの〜れにはたくさんお世話になっていきますし・・・（笑）まだ委員になって間もないけれど、職員が本心に熱心だと感じる。文化は損得じゃないですからね。そういう事業に少しでも関わってあげたいなと思いますね」と内田さん。

最後に内田さんにとってみの〜れはどういうところですかと聞いてみました。「いい意味で『過ぎたるもの』ですかね。小美玉にこういう施設があるのは素晴らしいことです。水戸や土浦の友達をみの〜れに呼んで来てもらうと、すごくいい所だ！と言ってもらえる。『知る人ぞ知る』じゃなく、みんなに知っていると言われるみの〜れになって欲しいと思います」と話してくれました。

（藤田佐知子）